

平成30年12月6日  
国立大学法人 千葉大学

八犬士、続々登場！  
千葉大生が八犬士を演じる 創作狂言「里見八犬伝 其ノ弐」上演  
見る、知る、伝える千葉～創作狂言～  
12月16日（日）千葉県文化会館にて！

千葉大学は、NPO法人フォーエヴァー、公益財団法人千葉県文化振興財団、県民の皆様と連携し、今年も創作狂言を上演します。

曲亭馬琴作『南総里見八犬伝』を大胆に狂言にリメイクした「創作狂言里見八犬伝」シリーズ。その第三弾が12月16日(日)千葉県文化会館で披露されます。第三弾でも、また新たな八犬士が登場します！「勸善懲悪ってなんだ」をテーマにした、一味も二味も違う八犬士の物語をぜひご覧ください。

■創作狂言「里見八犬伝」について

・概要

本公演は、千葉にまつわる物語や伝承を狂言にし、伝統を繋いでいく「見る、知る、伝える千葉～創作狂言～プロジェクト」(<http://www.cbs.or.jp/zaidan/kyogen/>)の一環です。和泉流狂言師・小笠原匡を中心に、千葉大学、NPO法人フォーエヴァー、公益財団法人千葉県文化振興財団、県民が連携し、新たな狂言を創り上げてきました。プロジェクト開始から10年以上を数えます。

千葉大生は、普遍教育教養展開科目「伝統文化をつくる」において、チラシ・ポスターやパンフレット、小道具の作成、広報活動を行っています。さらに舞台では、昨年度に引き続き、千葉大生が八犬士の犬塚信乃と犬飼現八、玉梓や、大など、重要な役柄をつとめます。狂言の本格的な稽古や、プロの俳優による指導を受けつつ、市民ワークショップ参加者とともに、舞台を作りあげます。

なお、第一部に古典狂言「雷」の上演も行われます。



▲昨年の公演「里見八犬伝 其ノ壱」

・開催日時

12月16日(日) 14時開演

・開催場所

千葉県文化会館小ホール

・料金

〔全席自由〕一般 2,000円、学生 1,000円  
千葉県文化振興財団HPより  
チケットをご予約いただけます。

<http://www.cbs.or.jp>



▲今年のワークショップ風景



本件に関するお問い合わせ・取材のお問い合わせ  
国際教養学部 普遍教育係 043-290-3614  
TEL: 043-290-3614 メール: [dcf3613@office.chiba-u.jp](mailto:dcf3613@office.chiba-u.jp)

見る、知る、伝える千葉  
創作狂言

# 八里見 犬伝

エピソードツアー  
其ノ弐

「勸善懲悪」って何だ。



## 第一部 狂言「雷」

出演 シテ 雷 小笠原匡  
アド 藪医者 能村晶人

## 第二部 創作狂言 「里見八犬伝 其ノ弐」

作・演出 小笠原匡  
制作協力 千葉大学  
出演 小笠原匡 能村晶人  
青山郁彦 加藤充華  
若菜の会 千葉大生  
狂言体験講座参加者

平成30.12.16(日)14時開演

千葉県文化会館 小ホール


全席自由 2,000円 学生 1,000円 (税込)

※13時より座席引き換えを行います。  
※未就学児の入場はご遠慮ください。

チケット発売所


インターネット予約 <http://www.cbs.or.jp/>

千葉県文化会館 043-222-0201 千葉県東総文化会館 0479-64-2001

主催：  千葉県文化会館  
(公財)千葉県文化振興財団 

後援：千葉県、千葉県教育委員会、千葉市教育委員会  
館山市教育委員会、南房総市教育委員会

運営：見る、知る、伝える千葉～創作狂言～運営委員会

助成：  文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)  
文化庁 独立行政法人日本芸術文化振興会

チラシデザイン：千葉大学文学部1年 中嶋 彩 表紙画像データ提供：館山市立博物館



狂言師 小笠原匡



第一部	<p>かみなり 狂言「雷」</p>	<p>都の藪医者(やくいしや)が東国(とうこく)なら医者(いしや)も少なく、商売(しょうばい)ができると思って東(とう)へ旅(たび)に出(い)ます。途中(ちゆうちゆう)、雷(らい)が鳴(な)り始め(はじ)、ものすごい雷鳴(らいめい)とともに雷様(らいさま)が落(お)ちて来(き)ました。雷様(らいさま)は、落(お)ちた拍子(はくし)に腰(こし)を打(う)ち痛(いた)めてしま(い)、そこにいる男(おとこ)が医者(いしや)だと分(わ)かると治療(ちりょう)をするように脅(おそ)します。藪医者(やくいしや)は、雷様(らいさま)を横(よこ)に寝(ね)かせ針治療(はりちりょう)をしま(す)が、雷様(らいさま)は針治療(はりちりょう)の痛(いた)さにもだえま(す)。治療(ちりょう)が終(お)わり帰(かえ)ろうとする雷様(らいさま)に、藪医者(やくいしや)は治療費(ちりょうひ)を請求(せいきう)しま(す)。治療費(ちりょうひ)が無(な)い雷様(らいさま)に藪医者(やくいしや)が要求(ようきゅう)したあるものとは…。</p>
第二部	<p>創作狂言 「里見八犬伝 エピソード ツー 其ノ弐」</p>	<p>本作(ほんさく)は、江戸時代後期(えどじだいこうき)に曲亭馬琴(きょていばきん)によって著(あ)された長編小説(ながひんせうせつ)『南総里見八犬伝(なんそうりみんはついんべんでん)』を題材(たいざい)とした創作狂言(さくしやくわいげん)です。</p> <p>前作(ぜんさく)『里見八犬伝 其ノ壱(りみんはついんべんでん 其のいち)』の最後(さいご)で芳流閣(はるりゅうかく)から小舟(こぶね)に落(お)ちた犬塚信乃(いぬづかしの)と犬飼現八(いぬかいげんぱち)は、そのまま行徳(はたごこな)へと流(なが)れ着(き)ました。そこで二人(ふたり)は、旅籠古那屋(はたごこなや)を営(い)む文吾兵衛(ぶんごべゑ)と、その息子(こ)で現八(げんぱち)の義兄弟(いねたごぶんご)である犬田小文吾(いぬたごぶんご)に出会(あ)います。信乃(しの)は現八(げんぱち)と小文吾(こぶんご)も同じ玉(たま)と痣(あざ)を持(も)つ仲間(なかま)であること(こと)を知(し)って喜(よろこ)びま(す)が、破傷風(はしょうふう)を発症(はつしやう)してしま(い)ました。さら(に)、お尋ね者(おひねりもの)をかくま(った)として、文吾兵衛(ぶんごべゑ)が捕(とら)えられてしま(い)ま(す)。信乃(しの)を救(す)うには若(わか)い男女(おとこめ)の生(なま)き血(ち)が必要(ひつやう)、父(ちち)親(おや)を救(す)うには信乃(しの)の首(くび)が必要(ひつやう)。悩(なや)む小文吾(こぶんご)が下(くだ)した決断(けつだん)は…。</p> <p>創作狂言(さくしやくわいげん)『里見八犬伝(りみんはついんべんでん)』シリーズ、『其ノ零(其のゼロ)』『其ノ壱(其のいち)』に続(つ)き、新(あたら)しい犬士(いぬし)も加(く)わって、過(あま)り過去の因縁(いんげん)も解(と)き明(あ)かされ(る)第3弾(だいさんだん)です。</p>



おがきわら ただし  
小笠原 匡 能楽師狂言方(能楽師狂言方)和泉流(和泉流) 公益社団法人能楽協会(公益社団法人能楽協会)会員(会員)  
日本能楽会(日本能楽会)会員(会員) 重要無形文化財総合指定保持者(重要無形文化財総合指定保持者)

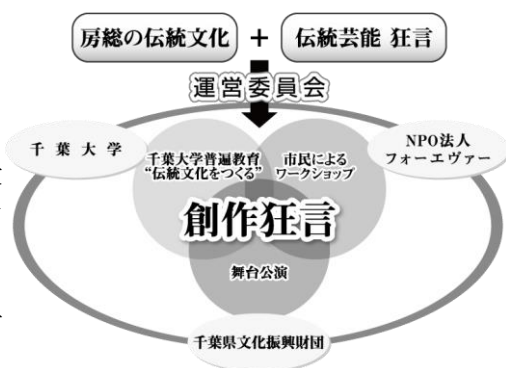
1965年生まれ。初世 野村 萬(人間国宝)、故8世 野村 万蔵、9世 野村 万蔵に師事。狂言の大曲「奈須与市語」「三番叟」「釣狐」「金岡」「花子」を抜く。2006年より「見る・知る・伝える千葉～創作狂言～」をプロデュース、毎年千葉県の神話民話風習を創作狂言に劇作・演出。NHK大河ドラマ「義経」、金曜時代劇「出雲の阿国」芸能指導、朝の連続ドラマ小説「カーネーション」・「ごちそうさん」所作指導。2012年より桃山学院大学地域連携共同研究プロジェクト「中近世の日本とイタリアにおける仮面喜劇の生成発展と現代の実践について」にて毎年ヴェネツィア大学で狂言とイタリア伝統仮面劇コンメディア・デッラルテのシンポジウム、ワークショップ、公演を行う。2016年よりパリ日本文化会館にて年3回「伝統の継承」を企画プロデュース。

現在、萬狂言関西支部代表、千葉大学客員教授。ホームページ <http://atelier-oga.com/>

「見る、知る、伝える千葉～創作狂言～」プロジェクト  
～古くて新しい伝統文化への取組み～

房総に伝えられてきた民話や伝承をもとに、和泉流狂言師小笠原匡、千葉大学、千葉県文化振興財団、県民などで新たに創り上げてきた狂言の舞台です。千葉大学、NPO法人フォーエヴァー、千葉県文化振興財団で運営委員会をつくり運営を行っています。

これまでに「千葉笑(千葉市)」「羽衣伝承(千葉市)」「鬼来迎(横芝光町)」「ヤマトタケル伝承(千葉県広域)」「八幡の藪知らず(市川市)」を題材に狂言を創作し、上演してきました。



千葉県文化会館のアクセス

千葉市中央区市場町 11 番 2 号

【JR 千葉駅より】

■京成バス⑦大学病院ゆき乗車約 10 分

郷土博物館・千葉県文化会館下車徒歩約 2 分

■千葉都市モノレール乗車約 6 分 県庁前駅下車徒歩約 7 分

【JR 内房線・外房線 本千葉駅より】

■徒歩約 10 分

